

山形村生涯学習基本構想

－ 計画期間 平成29～38年度 概要版 －



平成29年3月

山形村

山形村生涯学習推進委員会

現状と課題（平成25年第5次山形村総合計画より抜粋）

山形村では、国が示した「知の循環型社会」の構築の重要性から、平成15年3月に「山形村生涯学習基本構想・計画」を策定し、学級講座等を開催してきました。そして、社会教育の中核である公民館では、地域の課題を拾い村民ニーズを把握して多種多様な学級・講座を開催してきています。しかし、その後の社会構造や地域社会の変容など（下記の3点）から、近年の学習ニーズ等に対応できる生涯学習基本構想を見直し、このような視点から総合的な学習環境づくりを進めていくことが求められています。

- 生涯にわたって、あらゆる機会と場所で学習ができる社会の実現が求められていること
 - 社会・経済情勢の急速な変化の中で、学習課題の多様化や高度化に伴う適切な対応や指導者の確保、学びの成果を地域活動に生かす学習環境づくりが求められていること
 - 生涯学習の施設については整備充実が図られてきているが、老朽化への対応が必要であること
- そのために、次の主要施策についてその実現を図ります。

- ① 生涯学習に関する指針の見直し
 - ・総合的な学習環境づくりを進めていくための基本構想を見直す。
- ② 生涯学習を支える施設の整備充実
 - ・公民館をはじめとする生涯学習関連施設についての安全安心を基本とした施設設備の整備充実を図る。
- ③ 指導者の育成、確保と活用
 - ・学びの成果を地域活動に生かすためのリーダーバンク登録の積極的な働きかけや学校支援地域本部などの活動の場づくりを推進する。
- ④ 特色ある学級講座等の開催
 - ・村民の学習課題や地域課題の的確な把握及び多彩で特色ある学級講座等を開催する。
- ⑤ 関係団体の育成
 - ・社会教育団体や自主的な学習団体、サークル等の育成と各種活動を活発化する。
- ⑥ 図書館の充実と読書活動の促進
 - ・村民ニーズに即した蔵書の充実をはじめ、企画展の開催や図書館ボランティアの育成活用等の推進、読書活動など生涯学習推進の一つの拠点としての機能強化及び利用促進を図る。
 - ・読書活動推進計画に基づいた保小中等との連携と子どもの読書活動の推進を図る。

生涯学習基本理念

いつでも どこでも だれでも

学び つながり ^い活かす 生涯学習をめざして

一人一人が、自己の人格を磨き生きがいのある豊かな人生をおくるために、あらゆる場所や機会を活用して **いつでも どこでも だれでも** 生涯にわたって人や地域と関わって学び、学習した成果を社会に還元し、**学び つながり 活かす** <知の循環型社会> をめざします。

さらに、これまで行われてきている学級講座的な学びを継続しながら、外部機関と連携して地域資源の再発見や地域の課題解決に向けたワークショップを実施するなどして**学びの絆**で地域の教育力の向上を図ります。

『学び』の方向

山形村
村民憲章

山形村は豊かな自然と 肥沃な大地に抱かれ
永い歴史と先人の英知によって築かれた
教育と文化の伝統ある村です。
私たちはこの美しい故郷を限りなく愛し
豊かな心を育みながら発展する
山形村をめざして
ここに村民憲章を制定します。

- 一、豊かな大地と緑を愛し 限りなく躍進する村を育てよう
- 一、力をあわせ 活力ある平和な村を育てよう
- 一、明るい笑顔で健康と安らぎのある村を育てよう
- 一、未来を見つめ 高い教育文化の村を育てよう
- 一、温かい心のふれあう福祉の村を育てよう

昭和60年12月20日制定



第5次山形村総合計画基本構想

将来像

『めぐみの大地と人が響きあう笑顔あふれる山形村』

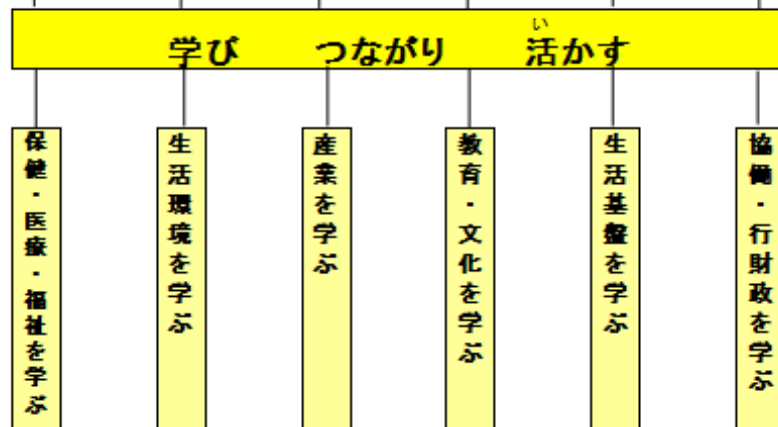
村づくりの目標

健康で安心して暮らせるやまがた
快適で安全な住みやすいやまがた
豊かで活力と交流に満ちたやまがた
次代を担う人と文化を育むやまがた
さらなる発展への基盤の整ったやまがた
みんなでつくる自立したやまがた



山形村生涯学習基本構想

学習の視点



生涯学習を取り巻く環境

社会環境が大きく変化する中、山形村においても高齢化の進行とともに世帯構成も変化し、連帯意識や地域互助精神の希薄化が指摘されるようになってきました。「人は環境の子なり」といわれるように、知の循環を図るには学びの成果が地域の活動に生かせる環境づくりと、学習の必要性を共通理解した上で無理のない関係機関の連携が求められます。

生涯学習(ライフロング・ラーニング)とは

- 自己の充実・啓発や生活の向上のため、個人の自発的意志に基づいて行うことを基本とするもので、その個人の生涯にわたって行われるすべての学習をいいます。
- 自己に適した手段・方法で必要に応じて行われるもので、内容は、文化・福祉・労働など社会の全分野にわたります。
- 学校教育や社会教育など意図的・組織的に行われる学習はもちろん、日常的に行われる家庭でのしつけや教育・スポーツ・文化・趣味・レクリエーション・ボランティアなど幅広い活動が含まれ、長い人生の節目や継続して行われる教育、あるいは学習のすべてが生涯学習として位置づけられます。

生涯学習の必要性

社会・経済の変化に対応するため、人々は絶えず新しい知識や技術の習得を迫られています。そして、自由時間の増大などの社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいのための学習需要が増大しています。生涯学習の基盤を整備し、学歴だけでなく様々な「学習の成果」が適切に評価される社会を築いていくことは、これまで進められてきている教育改革の課題の一つである学歴社会の弊害の是正にもつながるものと考えます。



編集 山形村生涯学習推進協議会
発行 山形村
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村 2040-1
TEL 0263-98-3155 FAX 0263-98-4256
発行日 平成29年3月